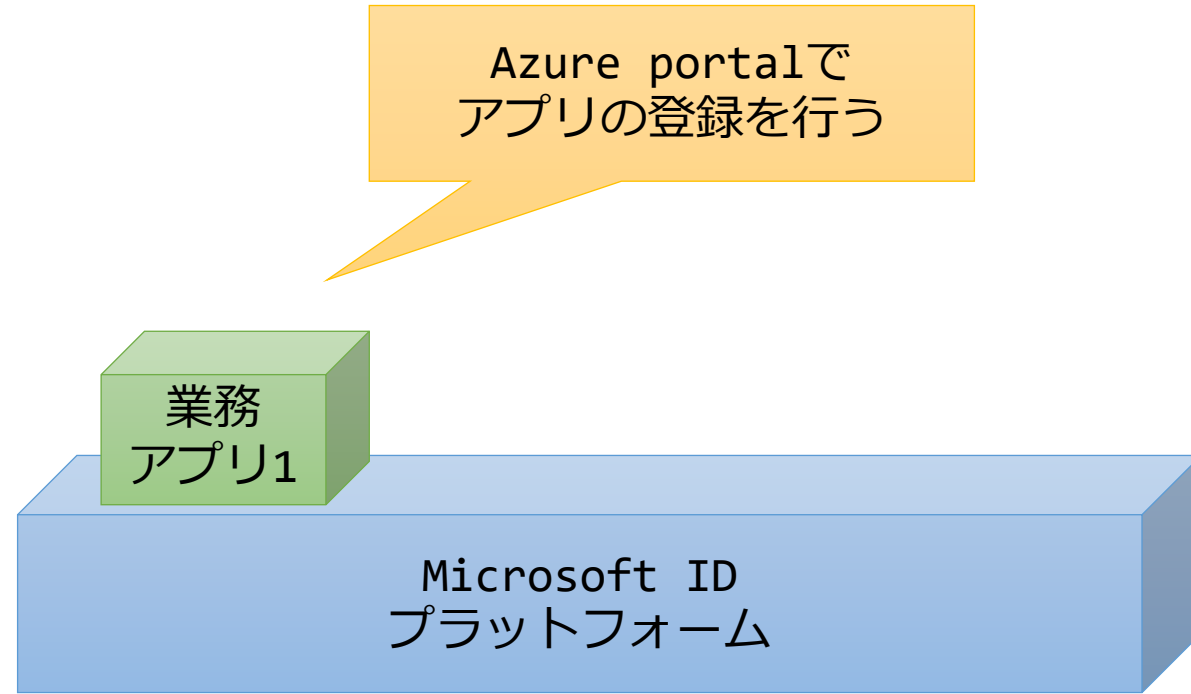


Microsoft ID プラットフォーム

2023/3/2

■ アプリの登録





- 概要
- プレビュー機能
- 問題の診断と解決

管理

- ユーザー
- グループ
- External Identities
- ロールと管理者
- 管理単位
- 代理管理者パートナー
- エンタープライズ アプリケーション
- デバイス
- アプリの登録

+ 新規登録



エンドポイント



トラブルシューティング



2020 年 6 月 30 日以降、Azure Active Directory プログラムは今後も提供されますが、機能更新プログラムがあります。 [詳細情報](#)

すべてのアプリケーション

所有しているアプリケーション

🔍 表示名またはアプリケーション (クライアント) ID を入力

23 個のアプリケーションが見つかりました

表示名 ↑↓

AZ	azdevsp-111111
AZ	azdevsp-19baed
AZ	azdevsp-21be8f
AZ	azdevsp-5583ae

アプリケーションの登録

* 名前

このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後で変更できます)。

myapp1

サポートされているアカウントの種類

このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれですか？

- ☒ この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (contoso1400 のみ - シングル テナント)
- ☐ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)
- ☐ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント) と個人の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)
- ☐ 個人用 Microsoft アカウントのみ

[選択に関する詳細...](#)

リダイレクト URI (省略可能)

ユーザー認証が成功すると、この URI に認証応答を返します。この時点での指定は省略可能で、後ほど変更できますが、ほとんどの認証シナリオで値が必要となります。

プラットフォームの選択



例: https://example.com/auth


作業に使用しているアプリをこちらで登録します。ギャラリー アプリと組織外の他のアプリを [\[エンタープライズ アプリケーション\]](#) から追加して統合します。


続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります [🔗](#)


登録

myapp1 | クイック スタート ☆ ...


構築しているアプリケーションの種類

 概要

 **クイック スタート**


 統合アシスタント


管理

 ブランド化とプロパティ


 認証


 証明書とシークレット


 トークン構成


 API のアクセス許可

 API の公開


 アプリ ロール


 所有者

 ロールと管理者

 マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

 トラブルシューティング

 新しいサポート リクエスト

Web アプリケーション

サーバーで実行されているコードによって処理されるアプリ



開始

モバイルとデスクトップ アプリケーション

モバイル デバイスまたはデスクトップ マシンでネイティブに実行されるアプリ



開始

シングルページ アプリケーション (SPA)

ブラウザで実行されるアプリ (通常は JavaScript)



開始

デーモン アプリケーション

ユーザーなしで実行され、自身の代わりに Web API にアクセスするアプリ



開始

myapp1 | クイック スタート

🔍 検索 <<

🏠 概要

🚀 クイック スタート

🔧 統合アシスタント

管理

🔗 ブランド化とプロパティ

🔄 認証

🔑 証明書とシークレット

🔑 トークン構成

🔗 API のアクセス許可

🌐 API の公開

👥 アプリ ロール

👤 所有者

👤 ロールと管理者

📄 マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

🔗 トラブルシューティング

👤 新しいサポート リクエスト

Web アプリケーション

アプリケーションの種類の変更

プラットフォームの選択



Node.js Web



ASP.NET



Python



Java



ASP.NET Core



PHP [🔗](#)
(チュートリアル)



Ruby [🔗](#)
(チュートリアル)



Blazor サーバー [🔗](#)
(チュートリアル)

対象が表示されませんか?

myapp1 | クイック スタート ...

[チュートリアル](#)[フィードバックがある場合](#)[概要](#)[クイック スタート](#)[統合アシスタント](#)[管理](#)[ブランド化とプロパティ](#)[認証](#)[証明書とシークレット](#)[トークン構成](#)[API のアクセス許可](#)[API の公開](#)[アプリ ロール](#)[所有者](#)[ロールと管理者](#)[マニフェスト](#)[サポート + トラブルシューティング](#)[トラブルシューティング](#)[新しいサポート リクエスト](#)

クイック スタート:ASP.NET Core Web アプリに Microsoft サインインを追加する

このクイックスタートでは、ASP.NET Core Web アプリで Azure Active Directory (Azure AD) 組織のユーザーをサインインする方法を示すコード サンプルをダウンロードして実行します。

手順 1:Azure portal でのアプリケーションの構成

このクイックスタートのコード サンプルを動作させるには、次のことを行います。

- [リダイレクト URI] に「`https://localhost:44321/`」および「`https://localhost:44321/signin-oidc`」と入力します。
- [フロントチャネルのログアウト URL] に「`https://localhost:44321/signout-oidc`」と入力します。

要求の ID トークンが承認エンドポイントによって発行されます。

[この変更を行う](#)

アプリの登録を
適切な設定に変更してくれる

手順 2:ASP.NET Core プロジェクトをダウンロードする

プロジェクトを実行します。

[コード サンプルをダウンロードします](#)

Tip

Windows におけるパスの長さの制限に起因したエラーを防ぐため、ドライブのルートに近いディレクトリをアーカイブの展開先またはリポジトリのクローン先とすることをお勧めします。

手順 2:ASP.NET Core プロジェクトをダウンロードする

プロジェクトを実行します。

コードサンプルをダウンロードします

ダウンロード



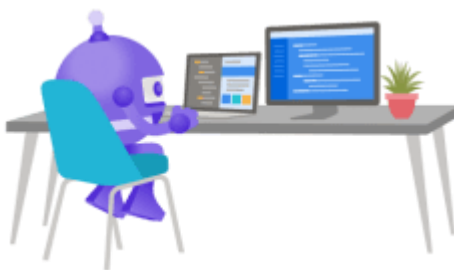
展開

ASP.NET Core
Webアプリ



デプロイ

App Service



開発環境

Microsoft ID プラットフォームに
アクセスするコード(MSAL)がすでに
埋め込まれている！

業務ロジックなどを
追加で開発して、
Azureにデプロイ

■Microsoft IDプラットフォームで
アプリがホスティングされるわけではない

Microsoft ID プラットフォームには
アプリの名前、URL、
アイコンなどが登録されるだけ

業務
アプリ1

Microsoft ID
プラットフォーム

参照

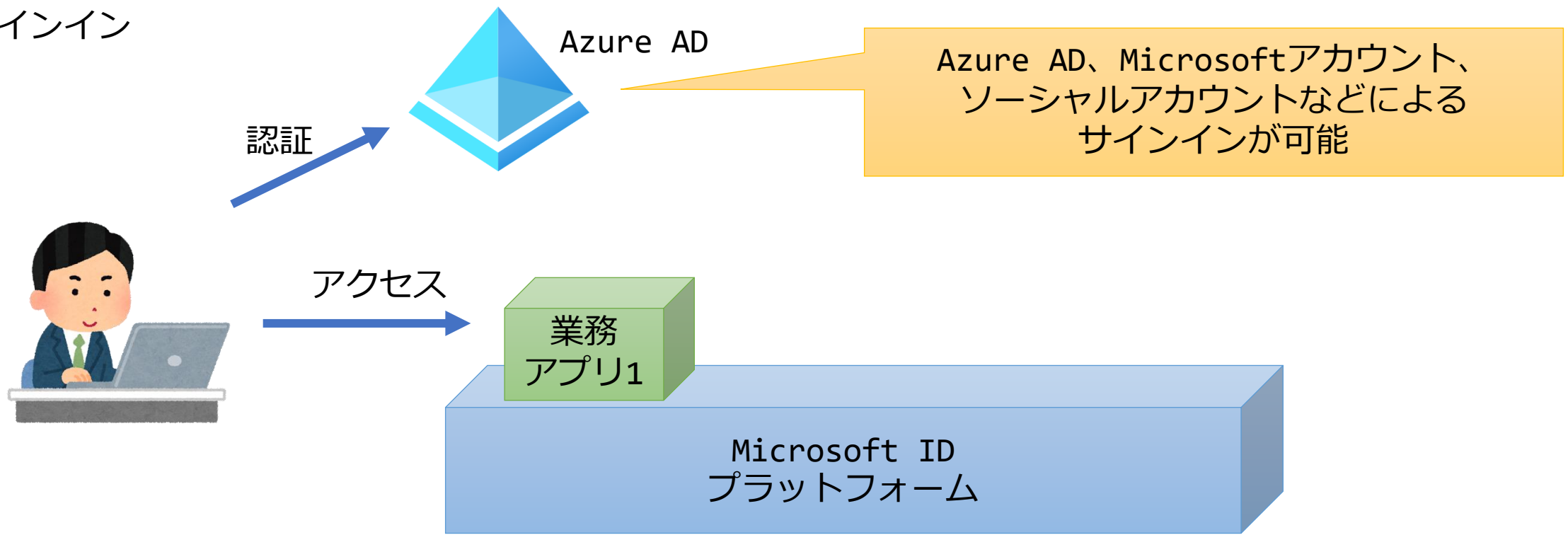
業務
アプリ1

実際のアプリは
App Serviceなど、
Microsoft IDプラットフォームの
外側で稼働している

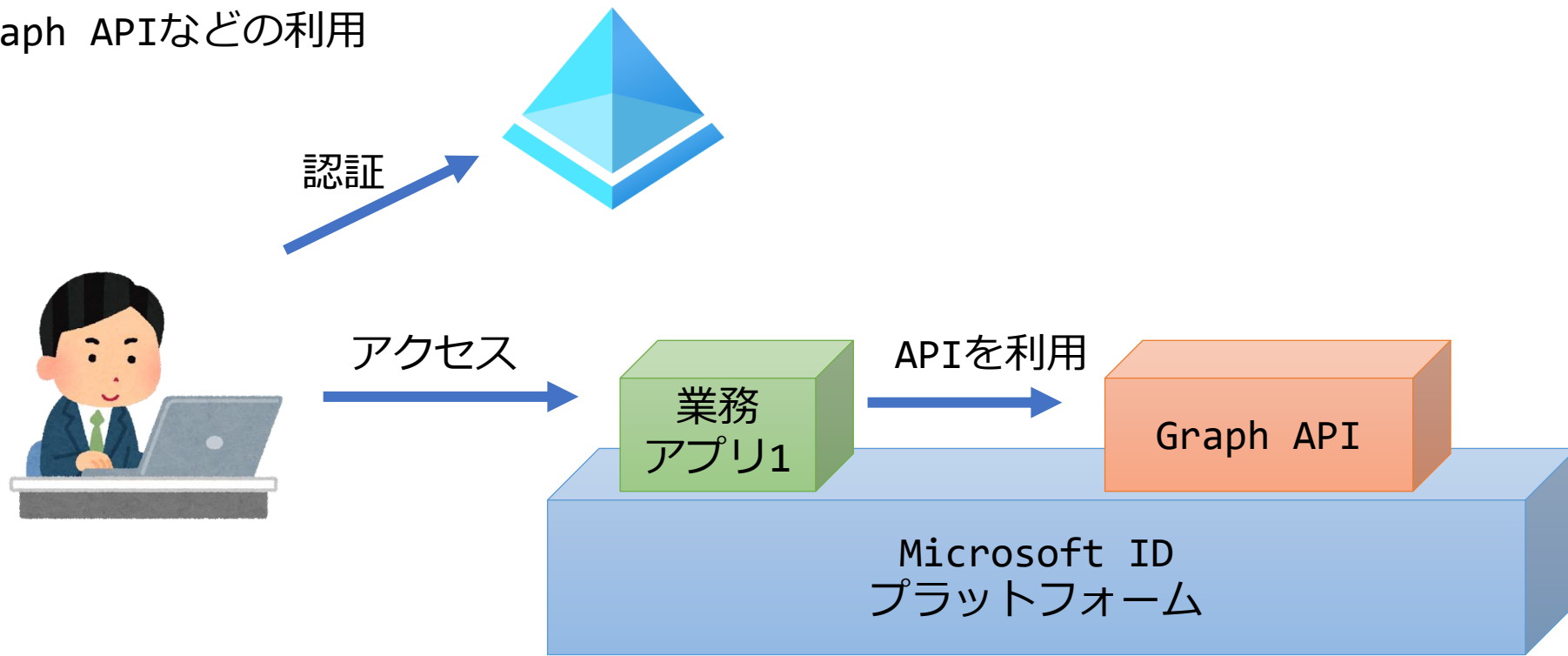


App Service


■サインイン



■ Graph APIなどの利用



■ Graph APIを利用するためのSDK「Microsoft.Graph」を利用できる



Package

Manager

Upload

Statistics


Documentation


Downloads

Blog

Sign in

Search for packages...





Microsoft.Graph

5.0.0

Prefix Reserved

.NET Standard 2.0

.NET CLI

Package Manager


PackageReference

Paket CLI

Script & Interactive

Cake

> dotnet add package Microsoft.Graph --version 5.0.0



README

Frameworks

Dependencies

Used By

Versions

Release Notes

Version	Downloads	Last updated
5.0.0	817	18 hours ago
5.0.0-rc.5	1,651	20 days ago
5.0.0-rc.4	1,483	a month ago
5.0.0-rc.3	1,221	a month ago

Downloads

Full stats →

Total

44.7M

Current version

817

Per day average

15.6K

About

Last updated 18 hours ago

Project website

Source repository

License Info

Download package (19.66 MB)

Download symbols (5.63 MB)

Open in NuGet Package

■メールを送信するコードの例 (Graph SDK、C#)

```
var graphClient = new GraphServiceClient( authProvider );  
  
var message = new Message { Subject = "...", Body = ... };  
  
await graphClient.Me  
    .SendMail(message, ...)  
    .Request().PostAsync();
```

Graph SDKを使用すると、
Graph APIの呼び出しが
簡潔に記述できる。

GyomuApp1 | API のアクセス許可

🔍 検索

🔄 最新の情報に更新

- 🏠 概要
- 🚀 クイック スタート
- 🛠️ 統合アシスタント

管理

- 🌐 ブランド化とプロパティ
- 🔄 認証
- 🔑 証明書とシークレット
- 🔑 トークン構成
- 🔑 **API のアクセス許可**
- 🔑 API の公開
- 👥 アプリ ロール
- 👥 所有者

📌 "管理者の同意が必要"
用される組織の値が反映

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロ
に必要なすべてのアクセス許可

+ アクセス許可の追加

API / アクセス許可の名前

▼ Microsoft Graph (1)

User.Read

個々のアプリに関する同意済

API アクセス許可の要求

🔍 すべての API



Microsoft Graph

<https://graph.microsoft.com/> [ドキュメント](#)

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可

アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可

アプリケーションは、サインインしたユーザーとして実行されます。

アクセス許可を選択する

🔍 mail.send



"管理者の同意が必要" 列には、組織の既定値が表示されます。ただし、ユーザーの同意は、アクセス許可、列には、ご自分の組織や、このアプリが使用される組織の値が反映されていない場合があります。 [詳細情報](#)

アクセス許可

▼ Mail (1)



Mail.Send ⓘ

Send mail as a user



Mail.Send.Shared ⓘ

Send mail on behalf of others

アクセス許可の追加

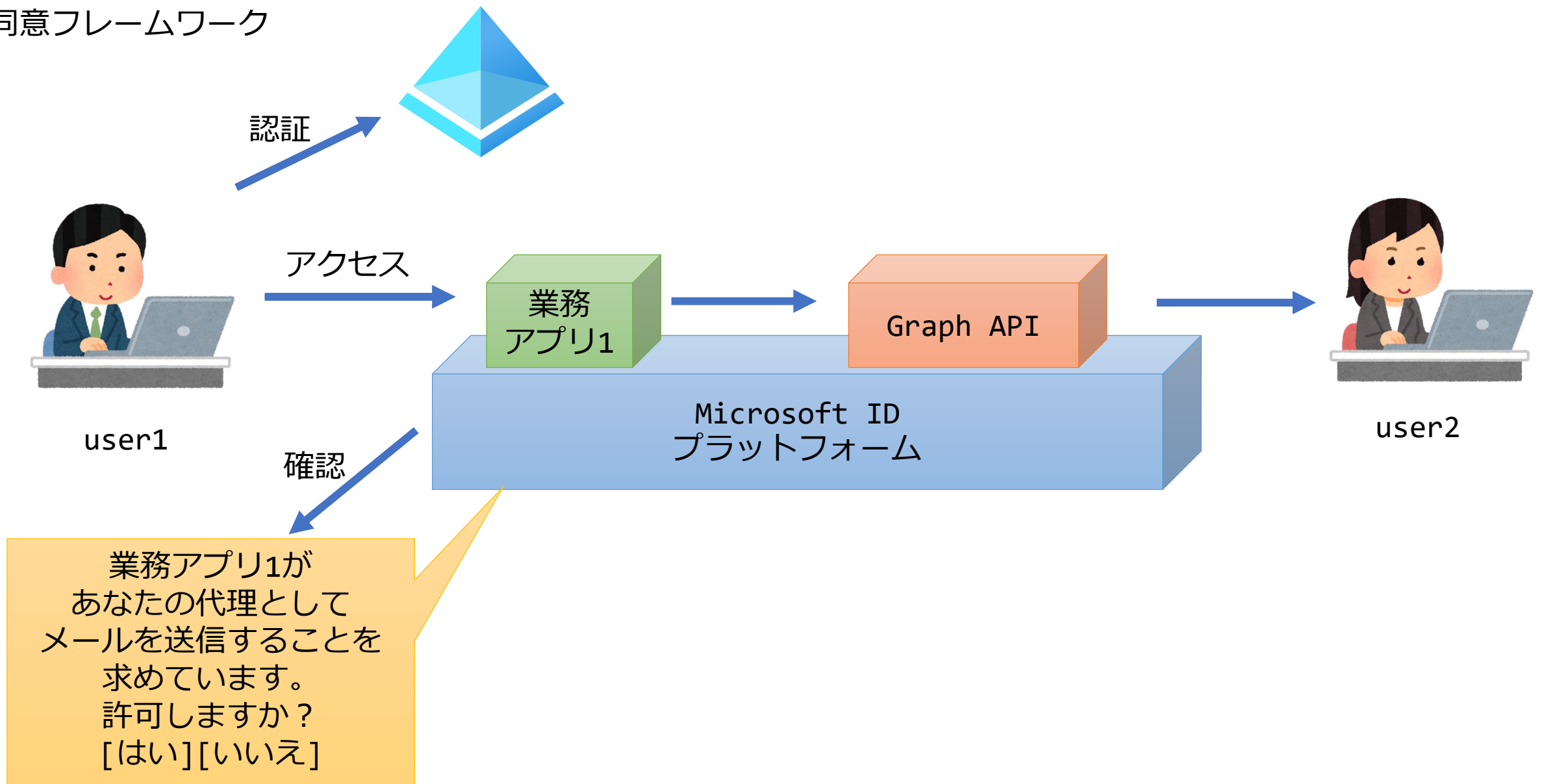
破棄

メール送信に必要な
アクセス許可を追加

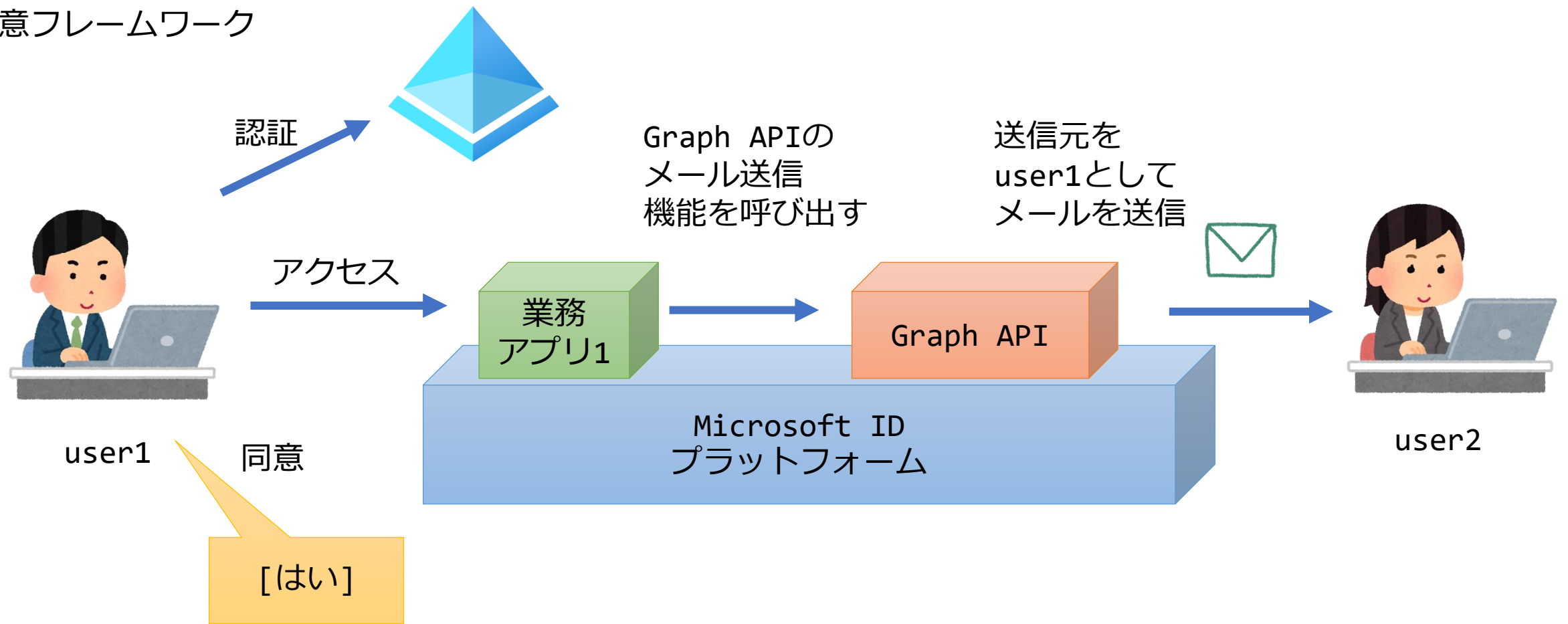
🔧 トラブルシューティング

👤 新しいサポート リクエスト

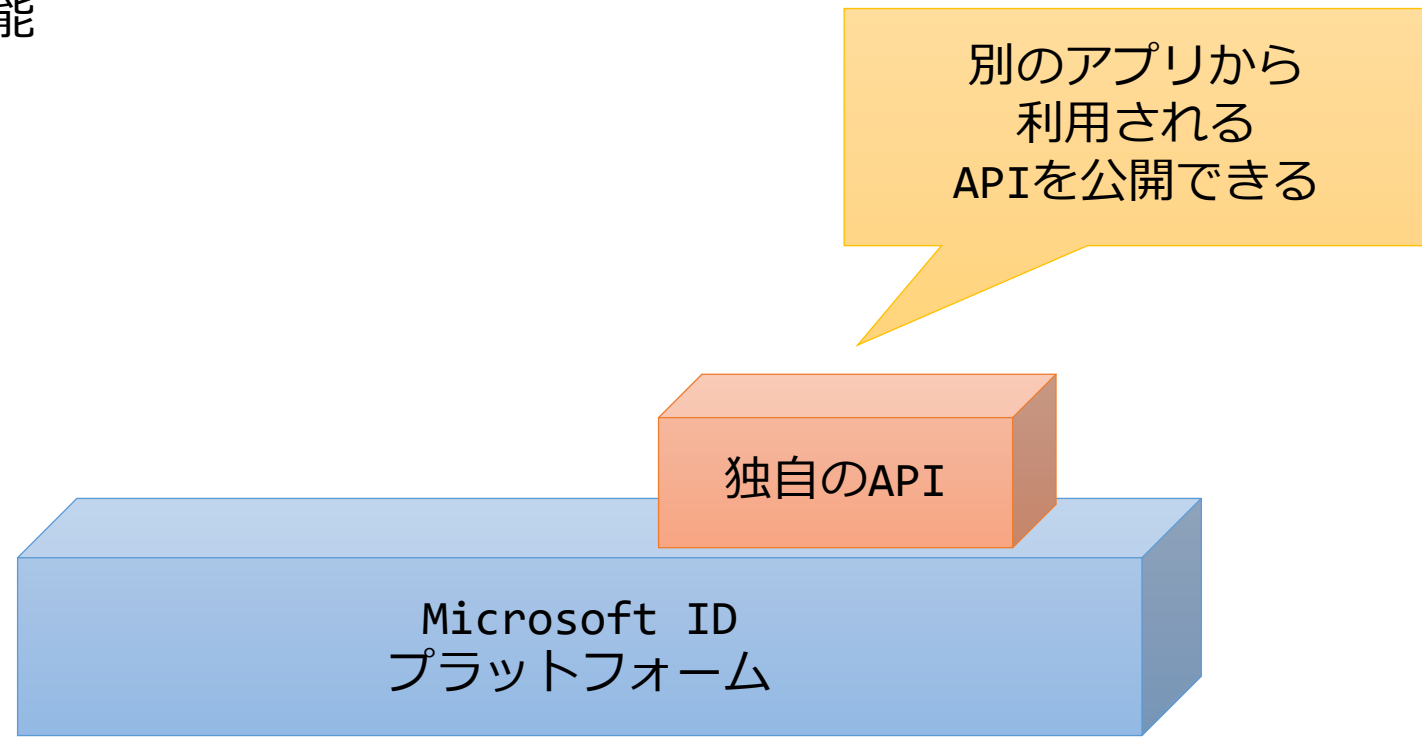
■同意フレームワーク



■同意フレームワーク



■独自のAPIの公開（追加）も可能



■ APIの公開

ホーム > contoso1400 | アプリの登録 > myapp1

myapp1 | API の公開

検索

フィードバックがある場合

概要

クイック スタート

統合アシスタント

管理

ブランド化とプロパティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

アプリケーション ID の URI [設定](#)

この API で定義されているスコープ

API によって保護されているデータと機能に対するアクセスを制限するためのシジョンでは、ユーザーまたは管理者がそれらの 1 つまたは複数に同意すること

こちらにスコープを追加すると、委任されたアクセス許可のみが作成されます。割り当て可能なアプリ ロールを定義してください。 [\[アプリ ロール\]](#) に移動し

Scope の追加

同意で

スコープは定義されませんでした

承認済みのクライアント アプリケーション

クライアント アプリケーションを承認すると、この API によりアプリケーションが

クライアント アプリケーションの追加

クライアント ID

承認されているクライアント アプリケーションはありません

スコープの 追加

アクセス許可を追加する前に、アプリケーション ID URI を設定する必要があります。あらかじめ設定されていますが、変更できます。

アプリケーション ID の URI * [①](#)

api://38f9fd2a-2979-4d21-be09-8b23f91e0ce8

「スコープ」 =
アクセス許可の定義
(OAuth 2.0用語)

保存してから続ける

キャンセル

スコープの追加



スコープ名 * ⓘ

Order.Read



api://3819d2a-2979-4d21-be09-8b23f91e0ce8/Order.Read

同意できるのは誰ですか? ⓘ

管理者とユーザー

管理者のみ

管理者の同意の表示名 * ⓘ

注文情報の読み取り



管理者の同意の説明 * ⓘ

注文情報の読み取りを許可

ユーザーの同意の表示名 ⓘ

注文情報の読み取り



ユーザーの同意の説明 ⓘ

注文情報の読み取りを許可

状態 ⓘ

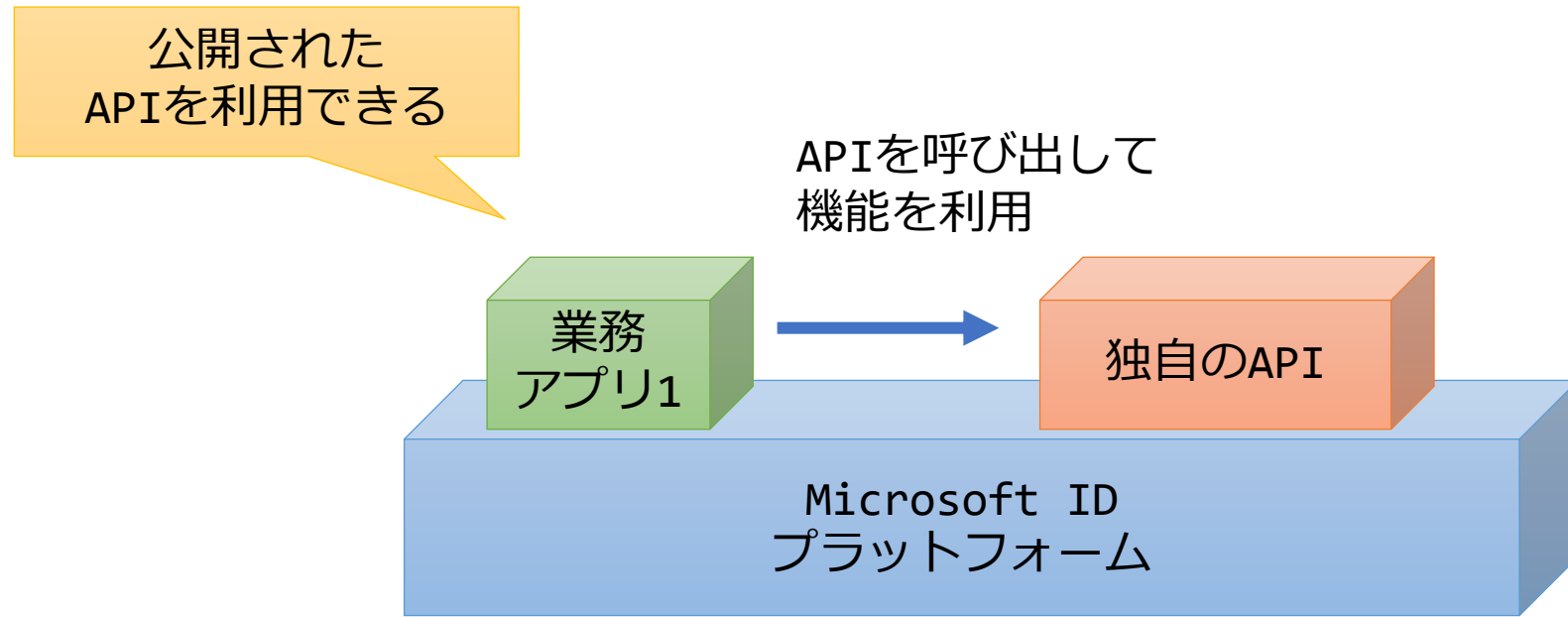
有効

無効

スコープの追加

キャンセル

■ 公開されたAPIの利用



アプリケーションの登録 ...

* 名前

このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後で変更できます)

GyomuApp1

サポートされているアカウントの種類

このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできる

APIを呼び出す
別のアプリを登録

業務
アプリ1

GyomuApp1 | API のアクセス許可

検索

最新の情報に更新

概要

クイック スタート

統合アシスタント

管理

ブランド化とプロパティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

"管理者の同意が必要"
用される組織の値が反映

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロ
に必要なすべてのアクセス許可

+ アクセス許可の追加

API / アクセス許可の名前

Microsoft Graph (1)

User.Read

個々のアプリに関する同意済み

APIを呼び出す
アクセス許可を追加

API アクセス許可の要求

< すべての API

MY myapp1
api://38f9fd2a-2979-4d21-be09-8b23f91e0ce8

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可

アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アクセス許可を選択する

アクセス許可を入力し始めると、これらの結果がフィルター処理されます

"管理者の同意が必要" 列には、組織の既定値が表示されます。ただし、ユーザーは、ご自分の組織や、このアプリが使用される組織の値が反映されていない場合

アクセス許可

Order (1)

☒ Order.Read ⓘ
注文情報の読み取り

アクセス許可の追加

破棄